

新年

あいさつ



―村づくり― 第6次総合計画

関川村長 平 田 大 六

あけましておめでとうございます。村民の皆さまにおかれましては、それぞれに新年を迎えられたこと拝察いたします。

昨年は、関川村発足60周年にあたりました。関川村が今日あるのも先人の方々の英知とご努力のたまものであり、感謝申し上げ記念式典を催行させていただきました。また、さらなる村の発展をはかるために、いくつかの記念事業を開催し、大勢の村民の皆さまにご参加いただきました。記念事業は、本年も計画しておりますので、ご協力をお願いします。

村づくりの基本である「第6次関川村総合計画」を2016年4月から実施します。そのために、本年から、原案づくりをはじめます。「第5次」の検証をふまえた「第6次」の新しい原案策定を、地域などから推薦いただいた方々を含む、若い人の多い40名の委員の皆さんに期待しています。「第6次」の主題のひとつは「人口減少対策」です。人口動態には、出生などの自然動態と転入などの社会動態があります。前者の影響などもあり、

女川保育園を3月で閉園させていただき、二つの園で充実をはかりたいと考えております。後者の対策といたしましては、新たな住宅建設の検討も必要です。

木質バイオマス発電は、投・出資方法や、機械方式も変わり、米国からの参入の形となり、村としての立場の「つめ」に入っているところです。操業は、来夏に予定されています。一方の太陽光発電は、丸紅商社関連の三峰川電力㈱により、春から全か所で送電となります。

昨秋ご参加いただきました避難・防災訓練の検証も参考にし、新たに、災害出動組織づくりを計画しております。消防団のOBの方々を中心に、現役時代の経験を活かした、もう「ひと働き」をお願いしたいのです。

春から関川中学校グラウンドの大改修に入り、今秋ここでの運動会は困難と思われます。しばらくがまんしてください。

本年も、皆さまのご多幸をお祈りいたします。

謹 賀

年 頭 の ご



— 景気回復 —

関川村議会議長

高 橋 八 男

明けましておめでとうございます。輝かしい新春を村民の皆さまとともに迎えることができ大変うれしく思います。

昨年は関谷村、女川村が合併し、関川村が誕生して60周年にあたりました。多くの村民の皆さまとともに、本村の礎を築かれた先人の方々に深く感謝を申し上げ、愛する郷土関川村を未来の村民に誇りをもつて引き継ぐことができるよう、一層の努力をお誓いしたところであり、新年を迎え、決意を新たにしているところであります。

一方で、多くの災害が発生した年でもありました。広島県の土砂災害、長野県御嶽山の噴火、そして地震、例年になく早い大雪などにより犠牲になられたご遺族に心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、現在、国におきましては経済の再生に向けた構造改革が進められております。地方自治体も、長引く景気の低迷や、少子高齢化社会の到来など、さまざまな課題に直面し、今まさにむらづくりそのものが大きく変化してきております。こうした厳し

い環境を乗り越え、村では雇用対策につながる森林資源を有効活用し、村の資金ではなく100%外部融資を利用した木質バイオマス発電事業も平成28年度中の完成を目指しているところです。なお、女川・川北太陽光発電所は昨年12月完成、第一発電所は今年1月完成予定です。

昨年12月に執行された衆議院選挙では、新潟第3区で民主党の黒岩宇洋氏が当選しました。村も、雇用・財政・農業問題に大きく期待しているところであります。

新たな視点で、私は、地方分権という時代の潮流を踏まえ、活発な議論を通じて議会審議の一層の活性化に取り組み、議決機関としての村議会の責務を着実に果たしてまいります。

年頭にあたり、本年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。